

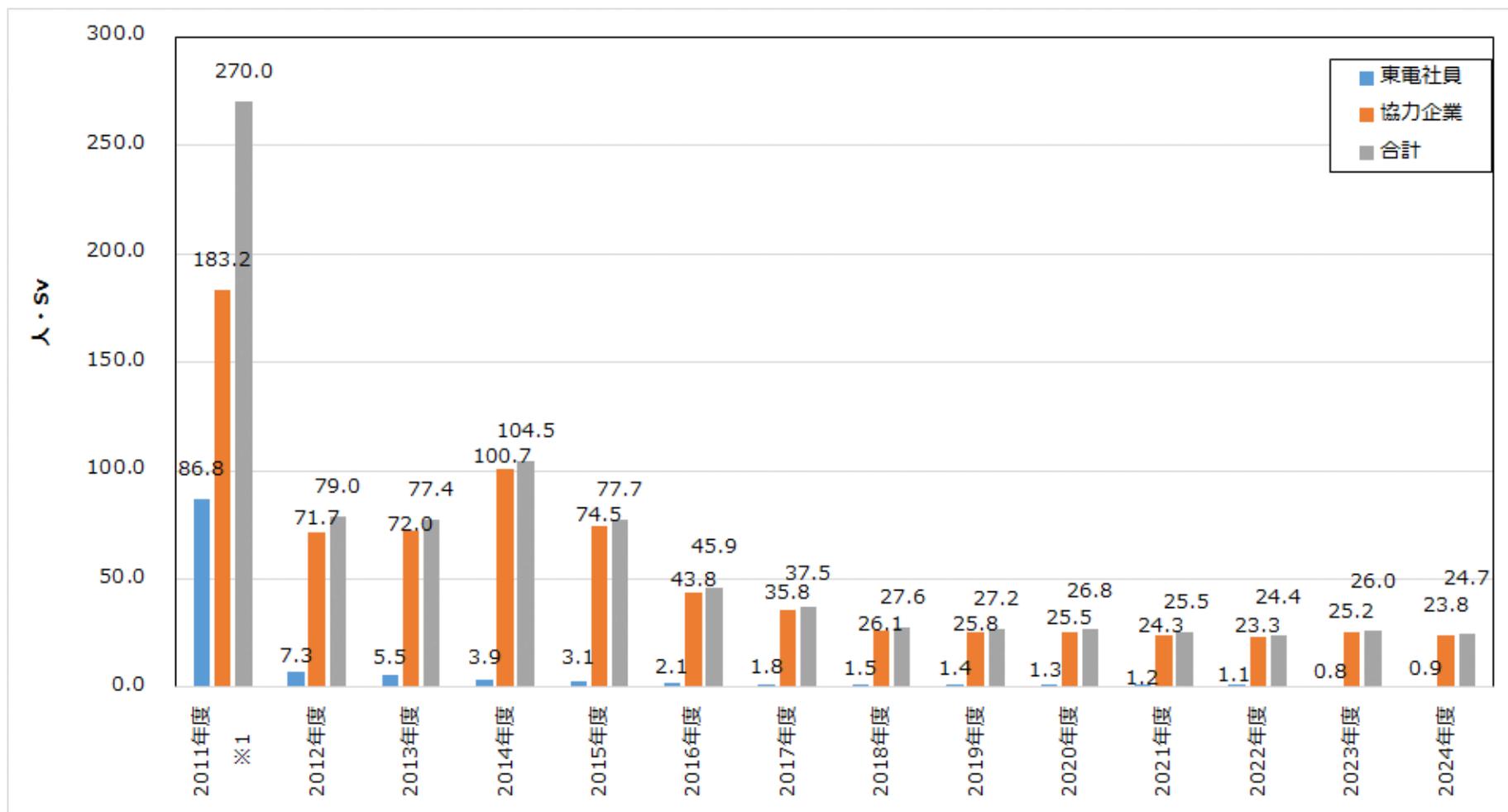
福島第一原子力発電所 従事者の被ばく線量全体概況について

2025年6月6日

東京電力ホールディングス株式会社

①発災以降の年度別外部被ばく線量の低減状況（総実効線量）

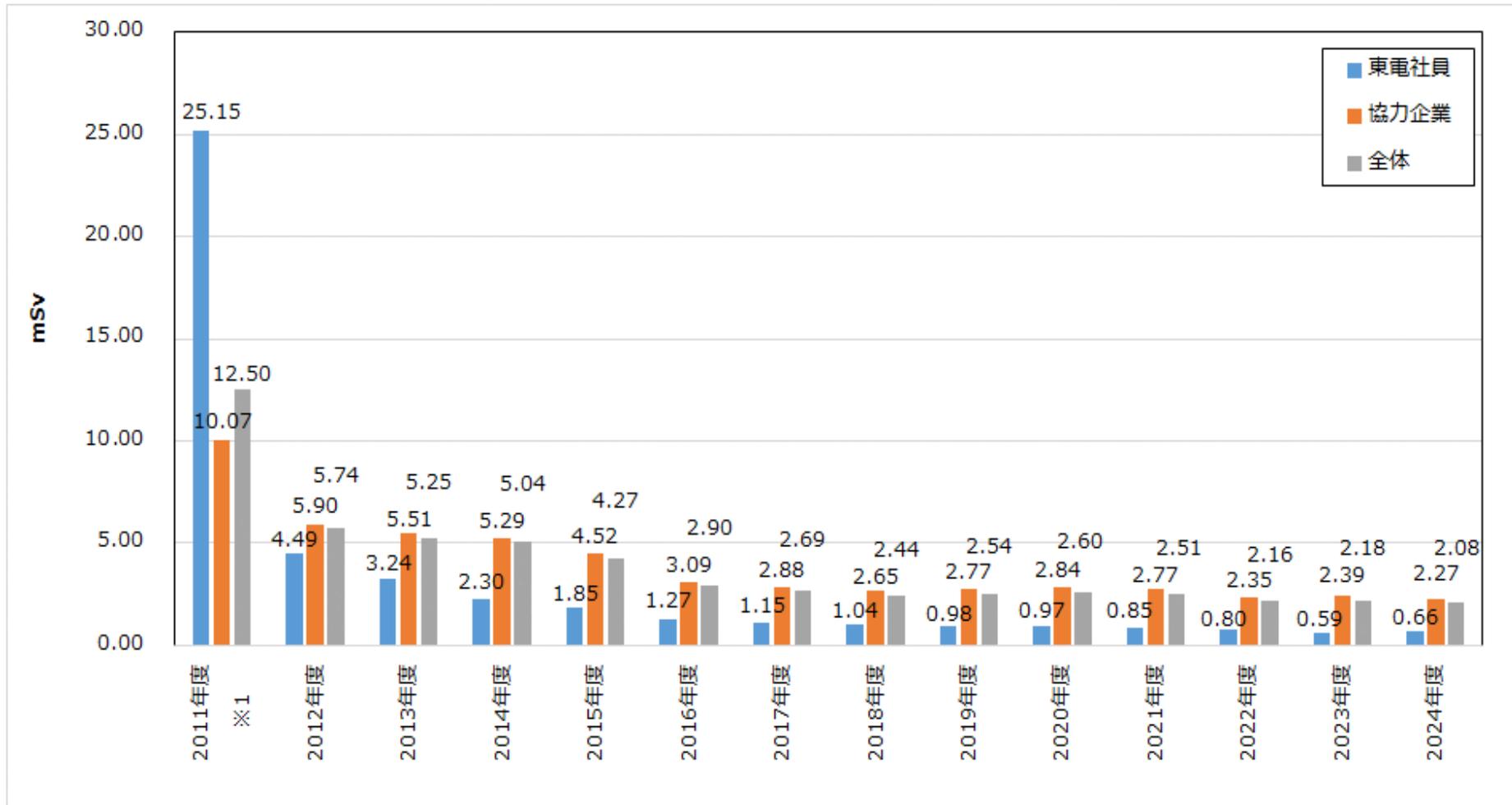
■ 前年度と比較して同程度となっている。



※1：2011年度は2011年3月を含む

②発災以降の年度別外部被ばく線量の低減状況（平均線量）

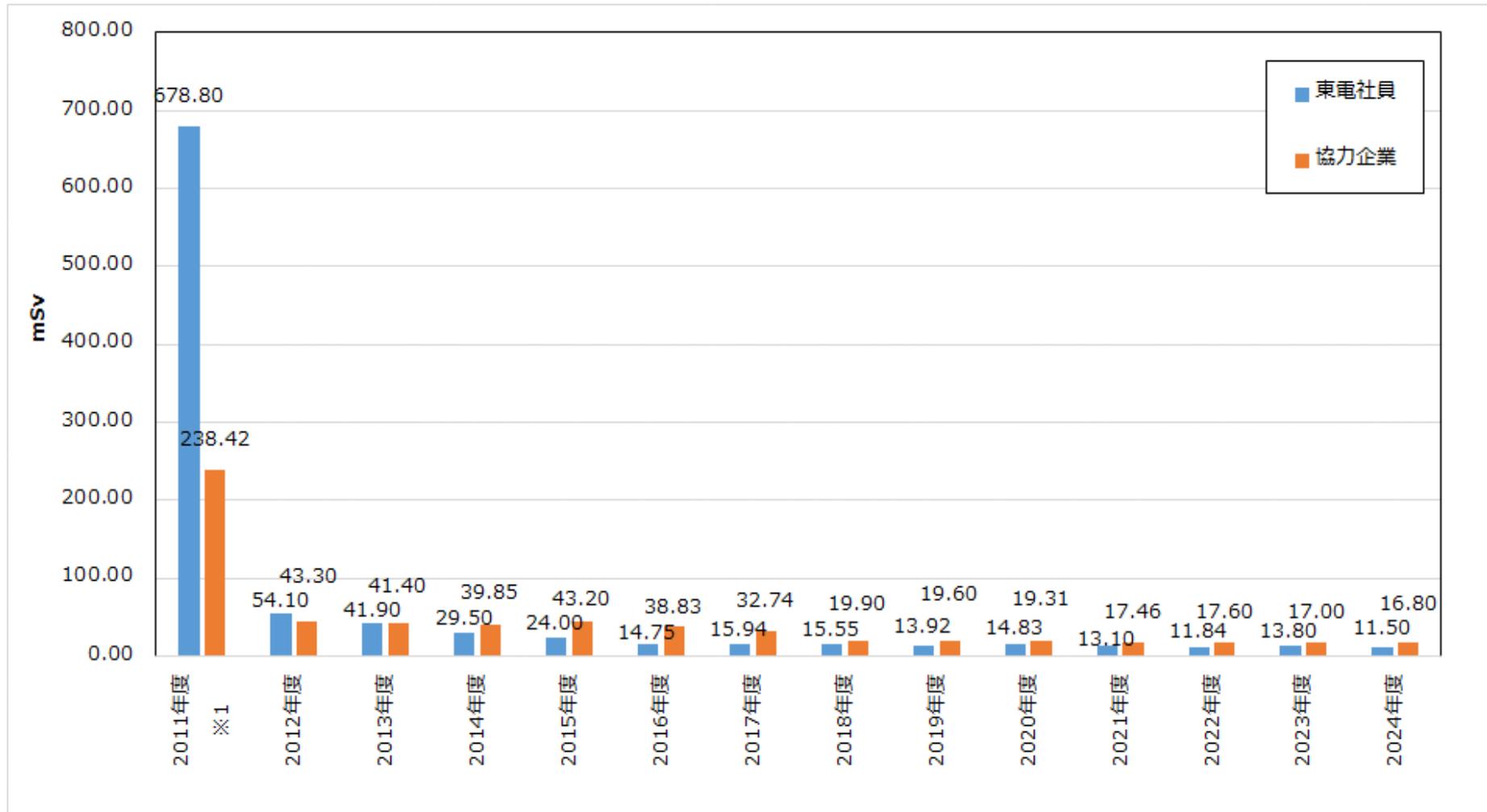
- 前年度と比較して同程度となっている。



※1：2011年度は2011年3月を含む

③発災以降の年度別外部被ばく線量の低減状況（最大線量）

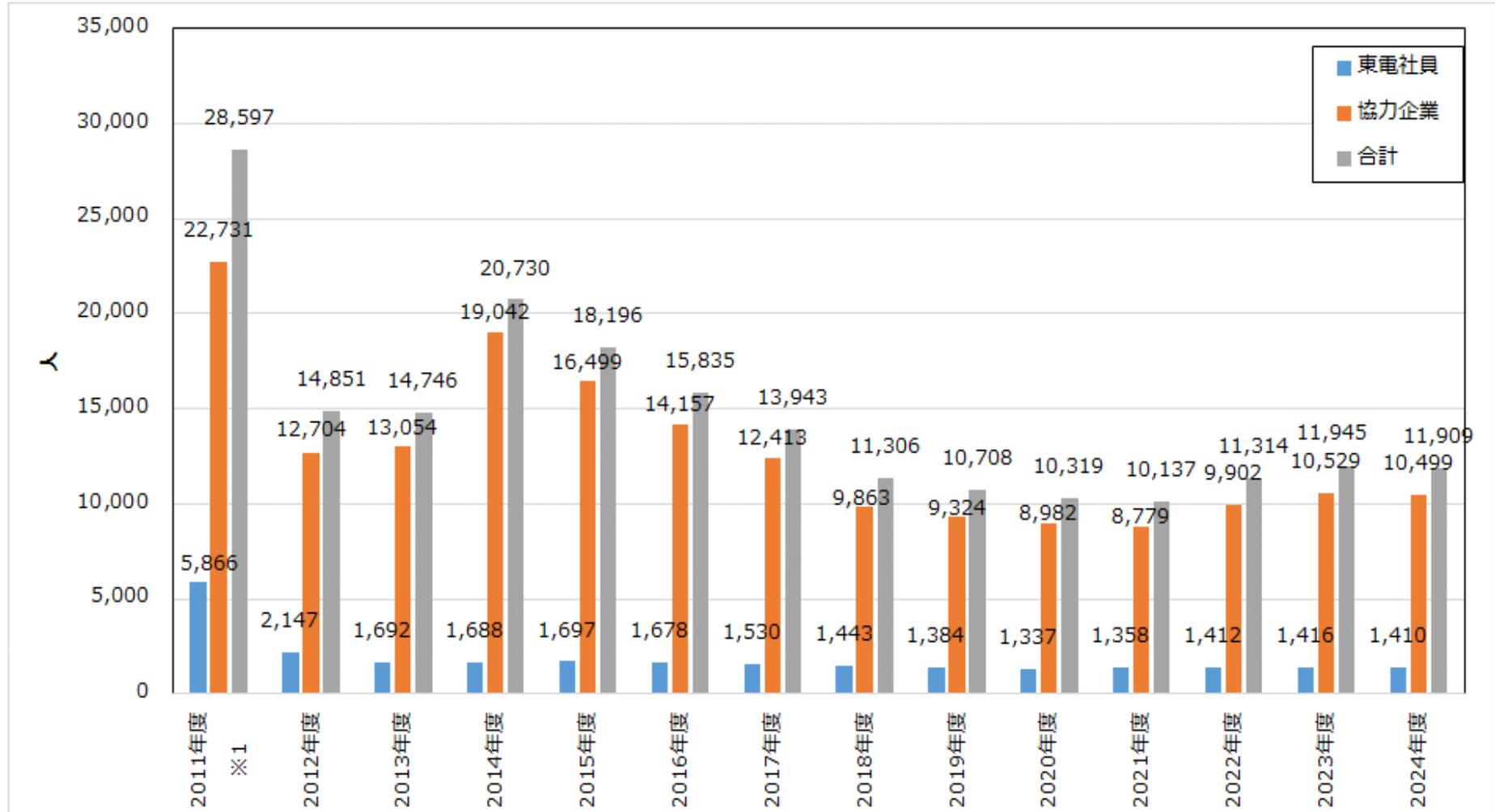
- 前年度と比較して同程度となっている。



※1：2011年度は2011年3月を含む

④ 発災以降の年度別放射線業務従事者数

■ 前年度と比較して同程度となっている。



※1：2011年度は2011年3月を含む

⑤放射線業務従事者の累積外部被ばく線量 2024年度

区分(mSv)	2024.4月～2025.3月		
	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0
75超え～100以下	0	0	0
50超え～75以下	0	0	0
20超え～50以下	0	0	0
10超え～20以下	4	804	808
5超え～10以下	44	990	1,034
1超え～5以下	166	2,078	2,244
1以下	1,196	6,627	7,823
計	1,410	10,499	11,909
最大(mSv)	11.50	16.80	16.80
平均(mSv)	0.66	2.27	2.08

○2024年度（2024.4月～2025.3月）に作業実績のある11,909人のうち

11,909人（100%）は50mSv以下

11,909人（100%）は20mSv以下

10,067人（84.5%）は5mSv以下

○全ての作業者について被ばく線量は、50mSv/年および100mSv/5年の線量限度を超えないよう、20mSv/年を上限値として管理をしている。

○2011.10月以降、有意な内部取り込みは認められていない。

⑥2021年4月1日を始期とする5年間の累積外部被ばく線量

区分(mSv)	2021.4月～2025.3月		
	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0
75超え～100以下	0	0	0
50超え～75以下	0	118	118
20超え～50以下	35	1,337	1,372
10超え～20以下	72	2,003	2,075
5超え～10以下	142	1,761	1,903
1超え～5以下	379	2,899	3,278
1以下	1,297	8,997	10,294
計	1,925	17,115	19,040
最大(mSv)	35.22	66.62	66.62
平均(mSv)	2.11	5.64	5.29

○2021.4～2025.3に作業実績のある19,040人のうち

19,040人 (100%) は100mSv以下

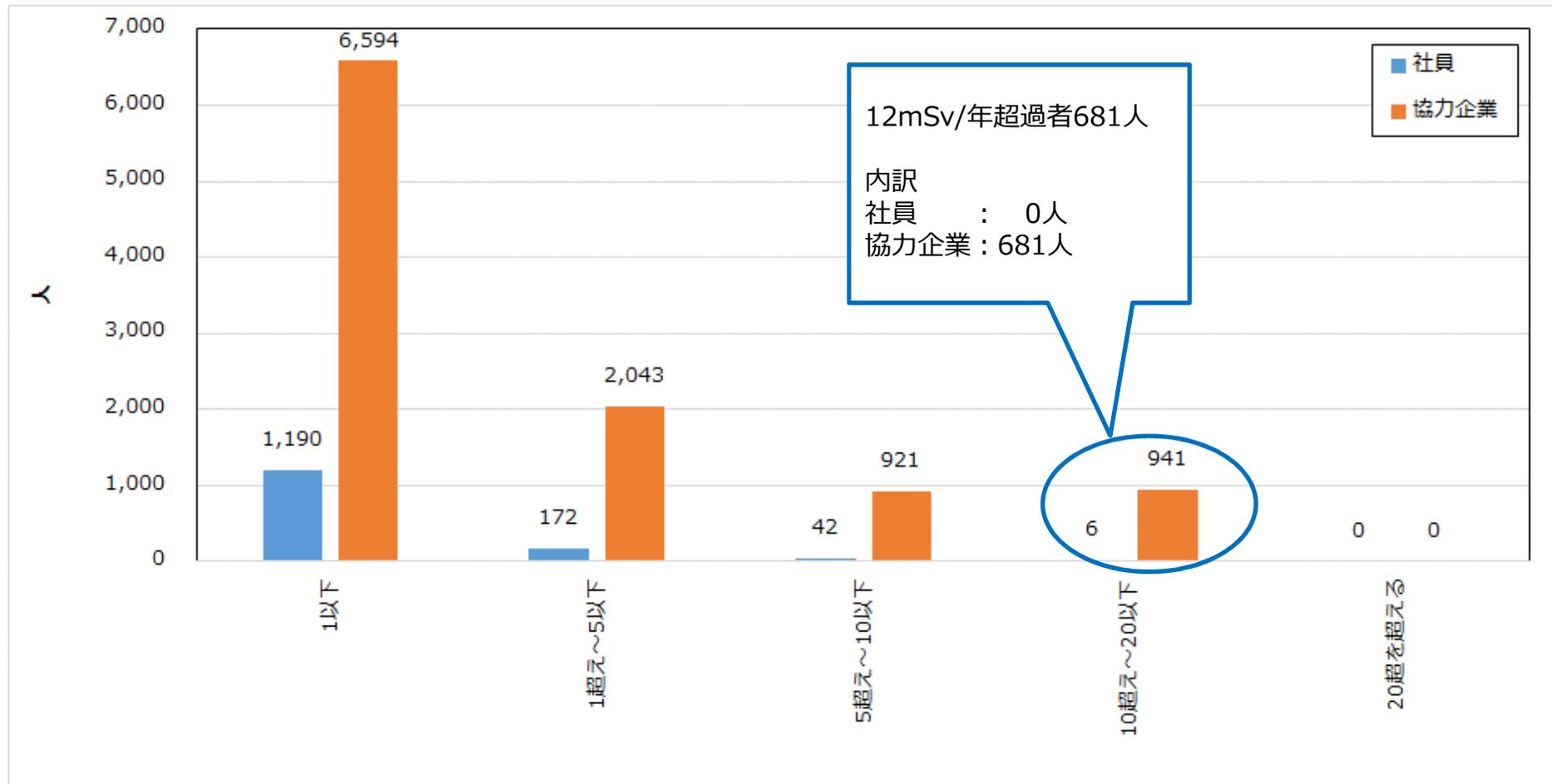
18,922人 (99.4%) は50mSv以下

17,550人 (92.2%) は20mSv以下

○全ての作業者の被ばく線量については、100mSv/5年の線量限度を超えないよう、80mSv/5年を上限値として管理をしている。

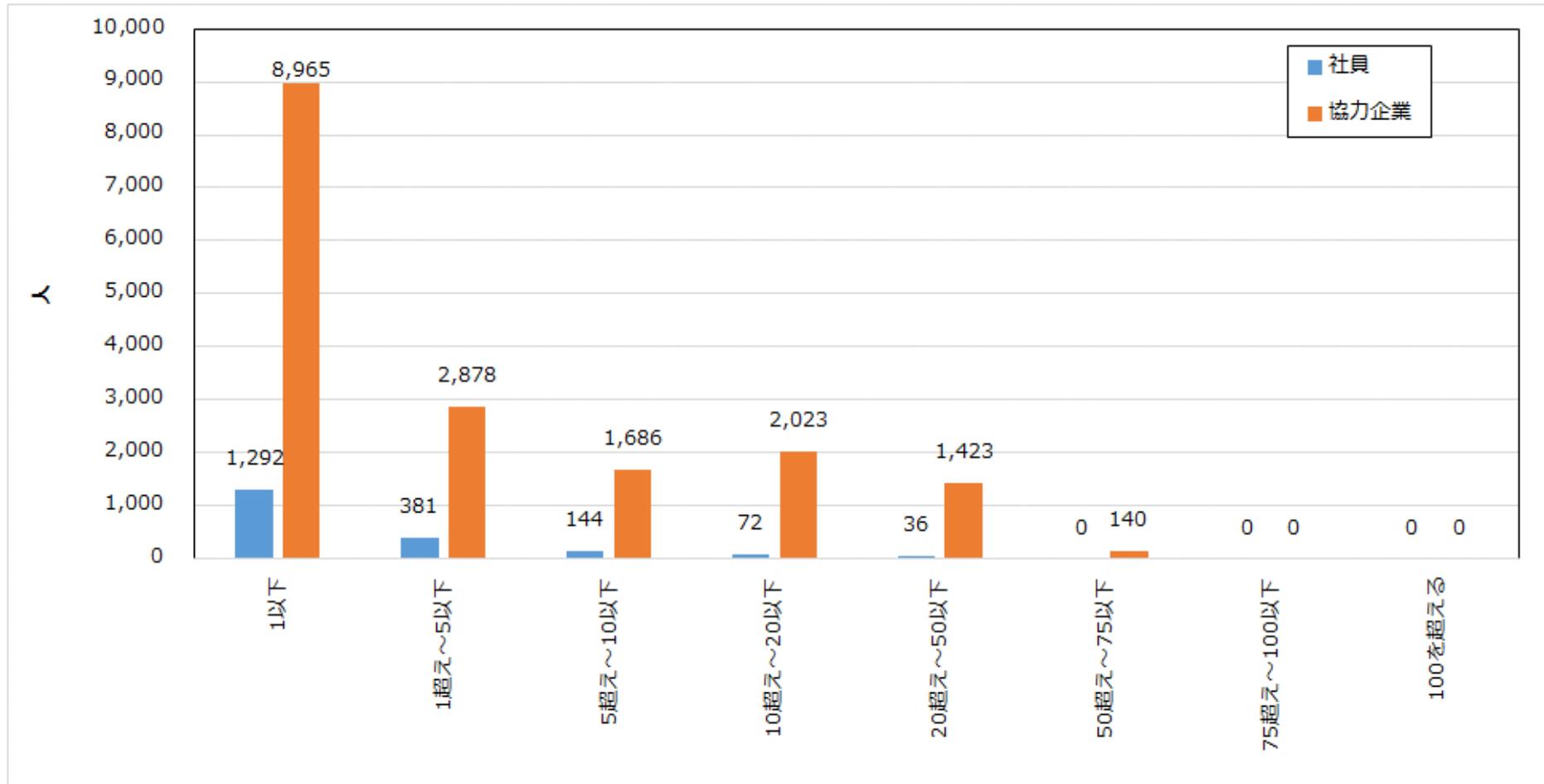
⑦眼の水晶体 累積等価線量分布（2024年度）

- 2024年3月分までの眼の水晶体の最大線量は、17.2mSv。
- 全ての作業者について眼の水晶体の等価線量は、線量限度内(50mSv/年)で管理。
- 眼の水晶体の等価線量が12mSv/年を超える作業を計画した段階、または超えたことが確認された段階で、眼の水晶体の等価線量を、眼の水晶体近傍（又は頭頸部）で測定を開始している。



⑧2021年4月1日を始期とする眼の水晶体の5年間の累積等価線量分布

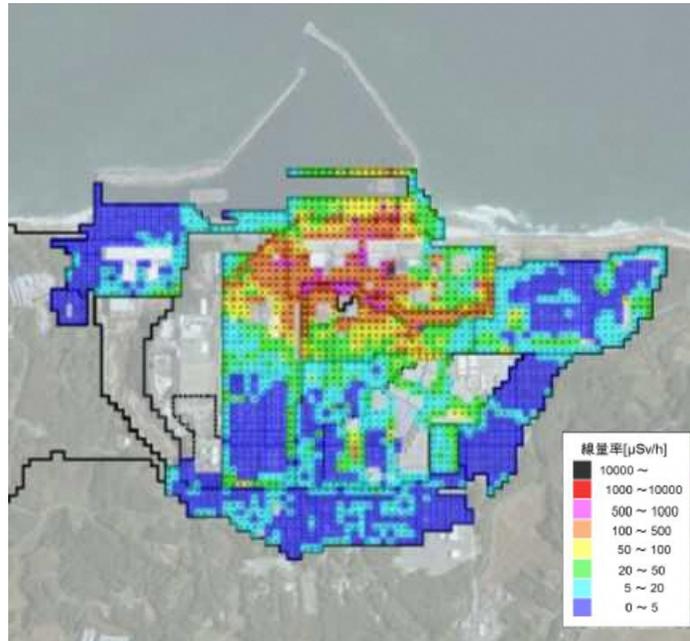
- 2021年4月1日を始期とする眼の水晶体の5年間の累積等価線量の最大線量は、65.66mSv。
- 全ての作業員の眼の水晶体の等価線量については、100mSv/5年の線量限度を超えないよう、発電所では80mSv/5年の管理をしている。



⑨環境線量率の低下

- 構内の環境改善によって、構内全域にわたって環境線量率が低下している。
2024年度時点で、構内の約96%が全面マスク着用を不要とするエリアとなっている。

2014年度



※ 空白部分は未測定エリア

2024年度

